

火山防災協議会等へのアンケート調査票

- 1 災害対策基本法に基づく火山防災のための「防災会議協議会」対象調査票
- 2 災害対策基本法に基づかない火山防災のための「連絡会」「検討会」等対象調査票

災害対策基本法に基づく火山防災のための「防災会議協議会」対象調査票

自治体・機関名: _____ 担当部課: _____

担当者名(役職): _____ (_____)

電話番号: _____ メールアドレス: _____

[1. 防災会議協議会の設立・運営等に関して]

1-1 協議会の設立年月をお答えください。

(_____ 年) (_____ 月)

1-2 協議会設立の背景や設立のきっかけとなったことがらなど、具体的にお答えください。

1-3 協議会の設立において、特に留意された点、苦勞された点などがあれば、お答えください。

1-4 協議会設立にあたって、特に尽力のあった諸機関・団体、専門家等があれば、ご記入ください。

・ _____

・ _____

・ _____

1-5 協議会のメンバーはどのようになっていますか。

1-5-1 人数(_____)人

1-5-2 構成メンバー(機関・団体名等をご記入ください)

・ _____

・ _____

・ _____

・ _____

・ _____

・ _____

1-5-3 協議会の構成メンバー以外に、会議等に参加している機関・団体、専門家等があれば、ご記入ください。

・	・
・	・
・	・

1-6 現在、メンバーには入っていないが、今後参加してほしい諸機関・団体等があれば、具体的にご記入ください。併せて、その理由も簡潔にお答えください。

機関・団体名()理由()

機関・団体名()理由()

機関・団体名()理由()

1-7 協議会の事務局はどのようになっていますか、ご記入ください。また、その仕組みのメリットまたは課題などがあれば、お答えください。

1-7-1 (自治体・機関名:)に固定

1-7-2 輪番制(年ごとの輪番制)

1-7-3 その他()

1-7-4 現在の仕組みのメリットまたは課題

--

1-8 協議会の年間の予算規模はどの程度ですか、ご記入ください。

平成16年度(千円)

平成17年度(千円)

平成18年度(千円)

1-9 協議会の開催頻度はどれくらいでしょうか、ご記入ください。

()回/年 程度

1-10 協議会では、主にどのようなことが議論されているでしょうか、お答えください。

・
・
・
・
・

1-11 協議会として行った(行っている)啓発事業をはじめとする災害予防対策についてお聞きします。

1-11-1 啓発事業など災害予防対策(例:防災マップやパンフレットの作成、防災訓練の実施、研修会・勉強会や講演会の開催、防災施設整備、物資・資機材の備蓄等)を実施していますか。(選択肢)

- ・ はい
- ・ いいえ

1-11-2 1-11-1 で「はい」とお答えの場合にお尋ねします。どのような事業を実施していますか。また、その事業の実施年月または実施頻度、事業に要した(要する)経費はどの程度ですか、例を参考に下欄にご記入ください。

事業の名称又は内容	事業の実施年月 または実施頻度	経費(千円)
(例 1) 観光客向け防災啓発ビデオの企画・作成	平成 17 年 3 月	12,000 千円
(例 2) 火山防災に関する住民講習会の開催	毎年 9 月頃開催	2,000 千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円

なお、上記事業に関する資料(パンフレットや報告書、記録など)がございましたら、ご提供をお願いいたします。(別紙【アンケートの返送と資料提供のお願い】参照)

1-12 協議会の運営にあたって、特に苦勞されている点は、どのようなところでしょうか、お答えください。

1-13 こうした協議会有ることのメリットは、どのようなことでしょうか、お答えください。

1-14 協議会の運営に関して、国や関係都道県に(支援など)期待するところはどのようなことでしょうか、お答えください。

1-15 協議会の機能や役割、運営等について、日ごろ感じておられる事や今後、こうあってほしいというご意見などあれば、お答えください。

[2 . 火山活動の異常時や噴火時の対応に関して]

<背景> 2000年有珠山噴火災害では、国、道、市町をはじめとする関係機関、さらに火山専門家も参加し「合同会議」が開催されました。また、本調査での「噴火時等の避難体制に係る火山防災対策のあり方(仮称)骨子」(別添資料)では、「火山活動が活発になった場合には、必要に応じ協議会等の構成機関からなる合同本部等を設置する。」とする提言を行っています。

そこで、合同本部の設置など火山活動の異常時や噴火時の対応についてお聞きします。

2-1 国や都道府県、周辺市町村等からなる噴火時等の「合同本部」の設置について、その必要性やその役割に期待するところ、または設置にあたっての課題など、地元の自治体として、どのようにお考えになりますか、お答えください。

2-2 協議会は、火山活動の異常時や噴火時には、どのように機能しますか、あらかじめ計画されていることがあれば、その内容をお答えください。

2-3 計画で定められていなくても、異常時や噴火時には、協議会がどのように機能することが望ましいと考えていますか。または、災害時に機能することが難しい点、課題があれば、お答えください。

3-3-2 貴市町村では、火山防災のための地域防災計画は整備されていますか。(選択肢)

- ・ はい
- ・ いいえ

3-3-3 3-3-2 で、「はい」とお答えの場合にお尋ねします。その地域防災計画には、どのような項目が記載されていますか。以下の選択肢でお答えください。(いくつでも)

・火山の概要	・火山噴火の履歴
・噴火現象と影響範囲(災害予測)	・噴火シナリオ
・避難のタイミングと対象範囲	・避難場所
・避難経路	
・その他()	

3-3-4 「相互間地域防災計画」と貴市町村の「地域防災計画(火山防災計画)」(以下、市町村地域防災計画とする)とは、どのような関係にありますか。以下の選択肢でお答えください。(選択肢)

- 相互間地域防災計画を具体的に反映したかたちで、市町村地域防災計画が策定されている。
- 相互間地域防災計画の内容は、市町村地域防災計画には、反映されていない。
- その他()

3-3-5 相互間地域防災計画を策定することの意義・必要性は、どのような点にあるとお考えでしょうか。

3-3-6 相互間地域防災計画を策定したことの効果は、どのような点に現れているでしょうか。

3-4 相互間地域防災計画に基づき火山災害(又は異常現象)に対する防災活動を行った経験がありますか。ある場合は、以下の設問にお答えください。

それ以外は 3-5 へお進みください。

3-4-1 特に印象に残っている火山災害(又は異常現象)はどのような災害でしょうか。また、それはいつ頃のことでしょうか。

3-4-2 上記の火山災害(又は異常現象)において、当時の相互間地域防災計画が役立った点はどのようなことですか。

3-4-3 上記の経験から、当時の相互間地域防災計画のどのような点を改善すべきであると考えられましたか。

3-4-4 上記の火山災害(又は異常現象)時において、協議会が行った活動はどのようなことですか。主な活動をお答えください。

3-5 現在の(最新の)相互間地域防災計画が抱えている問題や課題があれば、ご記入ください。

3-6 相互間地域防災計画以外に、協議会で策定された計画や活動要領、周辺市町村をまたがって定められているとりきめ等があれば、その計画等の名称、策定年月、概要等について、以下の欄にお答えください。(いくつでも)

計画等の名称		策定年月	
概要)			
この計画を策定することとなった背景、理由)			

計画等の名称		策定年月	
概要)			
この計画を策定することとなった背景、理由)			

計画等の名称		策定年月	
概要)			
この計画を策定することとなった背景、理由)			

なお、上記の計画書や資料等がございましたら、ご提供をお願いいたします。(別紙【アンケートの返送と資料提供のお願い】参照)

アンケートの回答、どうもありがとうございました。

災害対策基本法に基づかない火山防災のための「連絡会」「検討会」等対象調査票

自治体・機関名: _____ 担当部課: _____

担当者名(役職): _____ (_____)

電話番号: _____ メールアドレス: _____

[1. 「連絡会」「検討会」等の設立・運営等に関して]

1-1 会の名称をご記入ください。

1-2 会の設立年月をお答えください。

(_____ 年) (_____ 月)

1-3 会設立の背景や設立のきっかけとなったことがらなど、具体的にお答えください。

1-4 会の設立において、特に留意された点、苦勞された点などがあれば、お答えください。

1-5 会設立にあたって、特に尽力のあった諸機関・団体、専門家等があれば、ご記入ください。

・ _____

・ _____

・ _____

1-6 会のメンバーはどのようになっていますか。

1-6-1 人数(_____)人

1-6-2 構成メンバー(機関・団体名等をご記入ください)

・ _____

・ _____

・ _____

・ _____

・ _____

・ _____

1-6-3 会の構成メンバー以外に、会議等に参加している機関・団体、専門家等があれば、ご記入ください。

・	・
・	・
・	・

1-7 現在、メンバーには入っていないが、今後参加してほしい諸機関・団体等があれば、具体的にご記入ください。併せて、その理由も簡潔にお答えください。

機関・団体名()理由()

機関・団体名()理由()

機関・団体名()理由()

1-8 会の事務局はどのようになっていますか、ご記入ください。また、その仕組みのメリットまたは課題などがあれば、お答えください。

1-8-1 (自治体・機関名:)に固定

1-8-2 輪番制(年ごとの輪番制)

1-8-3 その他()

1-8-4 現在の仕組みのメリットまたは課題

--

1-9 会の年間の予算規模はどの程度ですか、ご記入ください。

平成16年度(千円)

平成17年度(千円)

平成18年度(千円)

1-10 会議の開催頻度はどれくらいでしょうか、ご記入ください。

()回/年 程度

1-11 会議では、主にどのようなことが議論されているでしょうか、お答えください。

・
・
・
・
・

1-12 この「連絡会」「検討会」等で行った(行っている)啓発事業をはじめとする災害予防対策についてお聞きします。

1-12-1 啓発事業など災害予防対策(例:防災マップやパンフレットの作成、防災訓練の実施、研修会・勉強会や講演会の開催、防災施設整備、物資・資機材の備蓄等)を実施していますか。(選択肢)

- ・ はい
- ・ いいえ

1-12-2 1-12-1 で「はい」とお答えの場合にお尋ねします。どのような事業を実施していますか。また、その事業の実施年月または実施頻度、事業に要した(要する)経費はどの程度ですか、例を参考に下欄にご記入ください。

事業の名称又は内容	事業の実施年月 または実施頻度	経費(千円)
(例 1) 観光客向け防災啓発ビデオの企画・作成	平成 17 年 3 月	12,000 千円
(例 2) 火山防災に関する住民講習会の開催	毎年 9 月頃開催	2,000 千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円

なお、上記事業に関する資料(パンフレットや報告書、記録など)がございましたら、ご提供をお願いいたします。(別紙【アンケートの返送と資料提供のお願い】参照)

1-13 災害対策基本法に基づく火山防災のための「協議会」設立に関して、その予定や見通しについてお聞きします。

1-13-1 災害対策基本法に基づく「協議会」設立の予定や見通しはありますか。(選択肢)

- ・ ある 1-13-2 へ
- ・ ない 1-13-3 へ

1-13-2 1-13-1 で「ある」とお答えの場合は、その理由や背景、そして具体的な予定をお答えください。

1-13-3 1-13-1 で「ない」とお答えの場合は、その理由や背景、もしくは設立にあたって課題や問題点となっていることがらなどをお答えください。

1-14 会の運営にあたって、特に苦勞されている点は、どのようなところでしょうか、お答えください。

1-15 こうした「連絡会」や「検討会」等があることのメリットは、どのようなことでしょうか、お答えください。

1-16 会の運営に関して、国または関係都道県に(支援など)期待するところはどのようなことでしょうか、お答えください。

1-17 会の機能や役割、運営等について、日ごろ感じておられる事や今後、こうあってほしいというご意見などあれば、お答えください。

[2 . 火山活動の異常時や噴火時の対応に関して]

<背景> 2000年有珠山噴火災害では、国、道、市町をはじめとする関係機関、さらに火山専門家も参加し「合同会議」が開催されました。また、本調査での「噴火時等の避難体制に係る火山防災対策のあり方(仮称)骨子」(別添資料)では、「火山活動が活発になった場合には、必要に応じ協議会等の構成機関からなる合同本部等を設置する。」とする提言を行っています。

そこで、合同本部の設置など火山活動の異常時や噴火時の対応についてお聞きます。

2-1 国や都道府県、周辺市町村等からなる噴火時等の「合同本部」の設置について、その必要性やその役割に期待するところ、または設置にあたっての課題など、地元の自治体として、どのようにお考えになりますか、お答えください。

2-2 この「連絡会」や「検討会」等は、火山活動の異常時や噴火時には、どのように機能しますか、あらかじめ計画されていることがあれば、その内容をお答えください。

2-3 計画で定められていなくても、異常時や噴火時には、「連絡会」や「検討会」等がどのように機能することが望ましいと考えていますか。または、災害時に機能することが難しい点、課題があれば、お答えください。

[3. 火山防災に関する計画等に関して]

3-1 この「連絡会」や「検討会」等において策定された計画や活動要領、周辺市町村をまたがって定められているとりきめ等についてお聞きします。

3-1-1 こうした計画や活動要領、とりきめ等がありますか。(選択肢)

- ・ はい
- ・ いいえ

3-1-2 3-1-1 で「はい」とお答えの場合、その計画等の名称、策定年月、概要等について、以下の欄にお答えください。(いくつでも)

計画等の名称		策定年月	
概要)			
この計画を策定することとなった背景、理由)			

計画等の名称		策定年月	
概要)			
この計画を策定することとなった背景、理由)			

計画等の名称		策定年月	
概要)			
この計画を策定することとなった背景、理由)			

なお、上記の計画書や資料等がございましたら、ご提供をお願いいたします。(別紙[アンケートの返送と資料提供のお願い]参照)

3-2 こうした計画や活動要領等に基づき火山災害(又は異常現象)に対する防災活動を行った経験がありますか。ある場合には、以下の設問にお答えください。

それ以外は 3-3 へお進みください。

3-2-1 特に印象に残っている火山災害(又は異常現象)はどのような災害でしょうか。また、それはいつ頃のことでしょうか。

3-2-2 上記の火山災害(又は異常現象)において、計画や活動要領等が役立った点はどのようなことですか。

3-2-3 上記の火山災害(又は異常現象)時において、「連絡会」や「検討会」等が行った活動はどのようなことですか。主な活動をお答えください。

3-3 現在の計画や活動要領等が抱えている問題や課題があれば、ご記入ください。

アンケートの回答、どうもありがとうございました。